

国 語

(1 期)

国語(1期)

第1問

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

オリンピックに関して言えば、何より日本はチアンのいいことがすばらしい。住民が正直で勤勉なことがいい。ゴミがなく、セイケツなことも大きな魅力だ。道にいるお巡りさんが賄賂をとらないことだけでもキョウイに値する。だから東京が選ばれるとしたら、その理由はマイナス点が少ないだけではないのだが、オリンピックという一種のお祭り騒ぎが始まると早くも奇妙な点が目についている。

その一つは二〇一三年一月五日付の読売新聞朝刊に（過去に新聞に出た記事も実際に挙げなければ伝わらないので具体的に述べるが）、^A オリンピック誘致に関して次のような全紙（新聞の紙面を丸々一ページ使う）広告が出たのである。

「私、浜田雅功は東京^f ショウウチ^f できたら、開会式のどこかのシーンで必ず見切れます。YAHOO!@JAPAN
ニッポンのために、インターネットができることを。GREE あなたの公約も募集中。www.ko-yaku2020.jp」

この広告を私が切り取っておいたのは、広告文をほとんど理解できなかったからである。紙面には感じのいい男性の写真も載っていたが、私は無知で誰かがわからなかった。

「オリンピックで活躍した人？」

と聞くと、若い世代にはかにしたような顔をされた。【1】

「『お笑い』で人気のある人です。昔は漫才もやっていました」

「おかしいな。私、漫才大好きだからたいいていの二人組は知っているんだけどな」

次に私が、悩んだのは「必ず見切れます」という表現だった。

「面倒を見切れない」という表現ならわかるが、こういう使い方は日本語にないからである。数日の間に会った人にこの意味を尋ねてみたが、中年以上の人はほとんどわからない。

「多分この人がオリピックのどこかの場面に必ず登場しているということでしょう」

と言う人はいたが、それが正しいかどうかもわからない。

GREEについても、それがどういう団体なのか、組織なのか、機械なのか、正確に説明してくれる人がいないので困った。

さらに私を悩ませたのは、「あなたの公約も募集」という言葉である。総理大臣ならその口から出た言葉は一応「公約」とみなされてもいいかもしれない。しかし一代議員が政治的発言をしても、それは「公約」ではない。ましてや国民は誰も「公約」をする立場にはいない。個人の約束はいかなるサイトで公表しようが、それは「私約」である。

ようするに、この広告文はめちゃくちゃなのだ。【2】

私は言葉というものの、生きのよさや遊びの機能を考えないわけではない。書くものの中で流行語をやたらに使うことは自制しているが、それは文章を書く者として、態度が安易に流れるからである。【1】、人の使う言葉を、その思想の故に縛ってはな

らないとも思う。

Ⅱ 新聞の一ページ全体を使った広告などというものは、誰もがそこに気楽に参加したり投書したりできるスペースではない。そこにそれだけの大きさで広告を載せようとすれば、それは恐らく今でも千万単位の値段を払わねばならないのだろうし（景気よかった時代の全国紙の全紙広告の値段は、四千万円以上であったことを、私は実際に当時財団に勤めていて広報の仕事を手がけていたから知っている）、それだけに社会的責任を有するのだという現実も感じていた。

最低の線は、社会の常識や道義を侵さず、かつ日本語がまちがっていないことである。殺人をそそのかしたり、他人を危険に陥

らせるようなことを示唆したり、他人に^ア 甲 な危害や損害を与えるようなことをよしとしてはならない。

しかしさらに広告として^乙 乙 に守るべき線がある。それは、そこに書かれている日本語が、できるだけ多くの日本人に理解されるような表現をしているということである。これは広告主が、お金を払う立場として、^イ 断じて^イ 広告代理店に要求していることだろう。オリンピック誘致の場合、都民税を払っている東京の住民もそれを要求していいことになるだろう。

広告を見る全員がわからねばならない、とは言わない。しかし私はこの「見切れる」という流行語を知っている人が中年以上にひどく少なかったことを思うと、それは広告というものの機能、「広く一般に知らしめる」という目的を果たしていない、と思う。オリンピックは、すべての世代がかかわるものだからだ。

Ⅲ 年寄り世代の知らない言葉でも使つてかまわないのだが、その場合は、そうした最新流行語を知らない「知的弱者」のために、粹な解説をつけ加えるべきである。たとえばどうしても英語の単語を使いたい時もあるだろう。その時には、やはり訳に当たるものを解説として付けるべきなのである。

こうしたひとりよがりの文章が登場する背後には、むしろ押しつけがある。^{IV} Ⅳ 私が知っているのだから、あなたが知らないことは、あなたが時代遅れで悪いのよ、という態度を押しつけることなのだ。^{【3】} Ⅲ

私は大学に行くことのできた世代で、しかも英文科を一応卒業した。^C Ⅲ 大学時代、小説ばかり書いていて、英語を学ばなかったダメ学生ではあったので、今でも始終わからない単語に出会う。すると一応その度に、少しは恥じて「字引を引かなきゃ」と反省している。

しかし私より年上の人たちは、大学へ行く道も開けていなかったし、今ほど英語が必要だとは思われない時代だった。電子辞書を持っている人は昨今多いが、その機能の中で英和辞典を引く習慣のない人はけっこういるだろう。

誰もがみんな英語をわかるという前提のもとに、英語の単語を日本語の表現として使うことはほんとうは避けるべきなのだ。「テレビ」とか、「コンピューター」とかいう程度に一般化していなければ、ほんとうは無礼なものなのである。

さらに私たちはまだ若い作家の時、先輩から人間としての謙虚な姿勢というものを習った。新聞に連載小説を書く場合の姿勢である。

新聞連載とは何かさえ知らない人のために一応解説をつけ加えると、新聞に一年間続けて、一つの筋の小説を書き続けることである。今までのところ、新聞の連載小説というものは、一日分、約千百字か千二百字である場合が多い。つまり四百字詰め原稿用紙約三枚分である。

そういつても、日本語で長い作文や手紙を書いたことのない子供や大人が多い昨今だから、それがどういうものかを想像することはできないだろう。今の小学生には、お年玉つきのハガキの宛て名を書くこともできない子供がいるという驚くべき話もある。

とにかく作家は一年かけて、四百字詰め原稿用紙一千枚以上の長さの作品を書くのである。一千枚の原稿用紙というものは、積むとちよつとした低い腰掛けにはなる。【4】

若い作家が初めて新聞連載を引き受ける時の恐怖は、なかなかのものだ。筋は決まっているのだが、つまり終わりまで書いていくわけではない。途中で筋が乱れたらどうしよう、こういう配分で書いて行って、果たして一千枚前後で終わるのだろうか、それとも足りないのだろうか、と心配の種は尽きない。

すると先輩がいろいろ忠告を与えてくれる。今はそういう温かい「余計なお世話」もないのだそうだが、私の頃は皆優しかった。忠告はたくさんあって、それをすべて守ろうとしていると、緊張がますます高まるが、中身は次のようなことだった。

読者が、その新聞小説を読み続ける気になるかならないかは、最初の十日分でほぼ決まる。さらに確実に安定した読者をつけるためには、一月分、つまり三十回、約百枚のうちに、読者の気持ちを引きつけねばならないのだという戒めもあった。

まあどの世界でも、修業時代には、こうした荒波を被りつつ成長して行くわけで、それはむしろ当然の技術を習うことなのだ。その中には、小説の書き方というよりむしろ道徳的な姿勢さえ含まれていた。作家が終生守らねばならないのは、相手に読んで理解していただく、という謙虚な姿勢を持ち続けることなのだ、という点である。

作家にとって、連載小説の中の登場人物や筋は、自分の一族のことより詳しくなっている。私たちは親戚でも、一人一人が、何を考えているかなど、よく知らないものだが、作者は作中人物の生みの親だ。その世界を誰よりよく知っている。その一人一人の思いも体験も、すべて記憶している。【5】

しかし読者というものはそうではない。毎朝その連載小説を読むような熱心な人でも、新聞を読んでいるうちに玄関のベルが鳴って、立って出なければならぬこともある。台所の葉缶やかんの沸騰する音が始めれば、火を消しに行かねばならない。仕事を果たした後で、再び新聞に戻れるという保証はない。洗濯物が落ちていけば、それを吊るし直すために、ベランダにも出なければならぬ。お昼が近いと思えば、炊飯器にお米を研いで入れておかねばならないこともある。

そんなことで人間の一日は、切れ切れで終わる。登場人物がどうなったか知らないまま、夜が来る。翌日、再びその連載小説を読んでみようと思ってくれる読者は優しい人だ。しかし昨日一日分の話の後半をその人は読んでいないのだから、中年男の主人公が、駅の改札口を出たところに、長らく会っていないなかった昔の恋人に、果たして会えたのかどうかさえ知らないままなのである。

「曾野さん、読者に甘えちゃいけませんよ。読者はみんな忙しいんです。どんなにあなたのファンだという人がいても、その人がまず確実に毎日、あなたの連載を読み続けていて、筋も覚えていてくれるなんて思い上がっちゃいけない。小説なんて、この世で大したものじゃない。だから、小説を読むことは、たいていのこの後回しなんだ。でも書く方は居住まいを正して全力をあげて書かなきゃいけない。しかしあくまで、今日、自分の小説を読んでくれる人は、初めてこの紙面を見るか、昨日の部分は読んでいなかったか忘れてしまったにちがいないと思って、きちんと構えなきゃいけない」

初めての方に理解してもらおうという姿勢を整えることが、ものを書くことの基本姿勢なのである。もちろん親友なら私の家族関係から、飼い猫の名前、夕食の時刻を飲むかまで知っていることもあるだろう。しかし不特定多数の読者に対しては、相手がこちらのことを何も知らない人なのだという基本から始まって、自分の思うことを伝えようと、あらゆる努力をしなければならないのである。

（曾野綾子『人間にとって成熟とは何か』より。問題作成の関係上、本文の一部に改変がある。）

問一 線部 a ~ f について、カタカナは同じ漢字を含むものを、漢字は読みがなを、各群の①～⑤の中からそれぞれ選べ。

解答番号

1

6

a チアン

- ① オウジを思いおこす。
- ② 自分の力を周囲にコジする。
- ③ 術後に温泉でトウジする。
- ④ 出場をジタイする。
- ⑤ 歴史のあるジシャ仏閣。

b セイケツ

- ① アナを掘る。
- ② イサギヨい態度。
- ③ 契約をムスぶ。
- ④ チのにじむ思い。
- ⑤ 配慮をかく。

c 賄賂

- ① しき
- ② ぞうろ
- ③ だらく
- ④ ゆうわく
- ⑤ わいろ

d キョウイ

- ① イク同音に賛成する。
- ② ウイ転変の世の中。
- ③ テンイ無縫な人柄。
- ④ 初対面でイキ投合する。
- ⑤ ムイ無冠の士。

e 値する

- ① あたい
- ② かち
- ③ ち
- ④ てき
- ⑤ ねうち

f ショウチ

- ① 自己ショウカイする。
- ② 自宅にショウタイする。
- ③ ショウゲキの新事実。
- ④ ショウタイが露呈する。
- ⑤ 身元をショウカイする。

5

6

問一 波線部ア・イの本文中における意味として最も適切なものを、各群の①～⑤の中からそれぞれ選べ。

解答番号 [7] ・ [8] (ア： [7] 、イ： [8])

① 指図したり

① おそらく

② 実行させたり

② きつと

ア 示唆したり

イ 断じて

③ きつぱり

[7]

④ ほのめかしたり

[8]

④ けっして

⑤ 命令したり

⑤ たぶん

問三 空欄 I ～ IV を補うのに最も適切な言葉を、次の①～⑤の中からそれぞれ選べ。(同じものを繰り返し用いては

ならない) 解答番号 [9] ～ [12] (I： [9] 、II： [10] 、III： [11] 、IV： [12])

① しかし

② それゆえ

③ つまり

④ また

⑤ もちろん

問四 空欄 甲 ・ 乙 を補うのに最も適切な言葉を、各群の①～⑤の中からそれぞれ選べ。(同じものを繰り返し用いて

はならない) 解答番号 [13] ・ [14] (甲： [13] 、乙： [14])

① 基本的

② 受動的

③ 象徴的

④ 積極的

⑤ 人間的

問五 傍線部A「オリンピック誘致に関して次のような全紙（新聞の紙面を丸々一ページ使う）広告が出たのである」とあるが、

筆者は「全紙広告」のような「広告」についてどのように考えているか。次の①～⑤の中から適切でないものを二つ選べ。

解答番号

15

16

- ① 広告に英語の流行語を用いる際は、それを知らない人のことを考慮して、その言葉に詳しい解説を付け加えるべきである。
- ② 広告の内容は、社会のモラルに反するものであってはならず、日本人の誰もが理解できるような表現でなくてはならない。
- ③ 市井の人々が気軽に投稿できるようなものではなく、多額の費用もかかることから、出稿する側にも社会的責任がある。
- ④ 広く一般に知らしめることが広告の目的であり、広告の表現はその目的にそぐわないものにならないよう留意する必要がある。
- ⑤ 料金を払う広告主は、広告に用いられる表現が広く理解されやすいものとなるよう、広告代理店に要求することも大切である。

問六 傍線部B「数日の間に会った人にこの意味を尋ねてみたが、中年以上の人はほとんどわからない」とあるが、「見切れる」

のような「中年以上の人はほとんどわからない」表現が用いられるのはなぜか。その説明として最も適切なものを次の①～⑤

の中から選べ。

解答番号

17

- ① 広告を出す側が、広告代理店にすべてを任せてしまい、広告主として何かを要求しようとする姿勢を見せないから。
- ② 言葉というものの生きのよさや遊びの機能を考えるあまり、広告で用いられる表現が平易なものに流れてしまうから。
- ③ 表現を用いる側に、自分が知っていることを相手が知らないのは、相手が悪いという押しつけがあるから。
- ④ 流行語についての知識を持たない、いわば「知的弱者」ともいうべき人々の存在が社会的に重視されていないから。
- ⑤ 若い人と中高年の間で言語感覚のずれが広がり、流行語の意味を共有することが難しくなってきたから。

問七 傍線部C「大学時代、小説ばかり書いていて、英語を学ばなかったダメ学生ではあった」とあるが、この部分に用いられて

いる「ばかり」と同じはたらきものを次の①～⑤の中から選べ。

解答番号

18

- ① 急いばかりに忘れ物をした。
- ② 会合に五分ばかり遅刻した。
- ③ 過程ではなく結果ばかりが重視される風潮。
- ④ 先ほど脱稿したばかりの原稿。
- ⑤ 千円ばかり貸してくれないか。

問八 傍線部D「新聞に連載小説を書く場合の姿勢」とあるが、それはどのようなことか。説明として最も適切なものを次の

①～⑤の中から選べ。

解答番号

19

- ① 忙しくて毎日読み続けられない読者のために、読者が理解しやすい話の筋になるよう謙虚に努力を重ねること。
- ② 作者は作品世界を誰よりも熟知しているということを理解して、その世界が謙虚な読者に十分に伝わるよう構えること。
- ③ 自分の思いがきちんと伝わるようにあらゆる努力を惜しまず、顔の見えない読者に対して謙虚でいつづけること。
- ④ 先輩の作家達の言いつけを謙虚に守り、最初の十日から一月くらいの間で読者の気持ちをひきつけようと努力すること。
- ⑤ 読者の理解力に依存するのではなく、その読者との一期一会を謙虚に楽しめるよう不安や緊張を排して居住まいを正すこと。

問九 次の文を本文中に補う場合、最も適切な場所を次の①～⑤のうちから一つ選べ。 解答番号

当たり前のことだ。

- ① 【1】 ② 【2】 ③ 【3】 ④ 【4】 ⑤ 【5】

20

第2問

次の各問いに答えよ。

問一 A～Fの傍線をつけた部分のよみがなとして最も適切なものを、各群の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

A 外科の病棟に勤務する。 解答番号 21

- ① がいか
- ② がいりよう
- ③ げか
- ④ げりよう
- ⑤ そとか

B 切手を貼付する。 解答番号 22

- ① かんぷ
- ② ちようふ
- ③ てんぷ
- ④ のりづけ
- ⑤ はりつけ

C 疾病の成り立ちを学ぶ。 解答番号 23

- ① けびよう
- ② さびよう
- ③ しっぺい
- ④ しつびよう
- ⑤ やびよう

D 噴飯ものの議論。 解答番号 24

- ① ふきめし
- ② ふくい
- ③ ふくばん
- ④ ふんしよく
- ⑤ ふんぱん

E 一汁三菜の食事。 解答番号 25

- ① いちじる
- ② いちじゅう
- ③ いったん
- ④ いっしる
- ⑤ ひとしる

F 年俸制の職業。 解答番号 26

- ① ねんこう
- ② ねんしゅう
- ③ ねんぼう
- ④ ねんぼう
- ⑤ ねんぼう

問一 A～Cの小説の作者を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

A 雪国 解答番号

B たけくらべ 解答番号

C 破戒 解答番号

① 有島武郎

② 川端康成

③ 北村透谷

④ 島崎藤村

⑤ 樋口一葉

問三 A～Cの詩集の作者を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

A 於母影 解答番号

B 月下の一群 解答番号

C 月に吠える 解答番号

① 中原中也

② 夏目漱石

③ 萩原朔太郎

④ 堀口大学

⑤ 森鷗外

問四 A～Cの熟語と同じ構成のものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

A 決意 解答番号 33

B 酷暑 解答番号 34

C 国立 解答番号 35

- ① 青空
- ② 吉凶
- ③ 地震
- ④ 道路
- ⑤ 読書

〔以下余白〕